

2012年5月23日

各位

グローリー株式会社

兵庫県姫路市下手野1-3-1

(東証・大証1部:6457)

海外金融機関向け窓口用紙幣入出金機「RBG-200」を開発

～世界各国の紙幣に幅広く対応可能な紙幣入出金機～

弊社は、業界最多※1となる128種類の紙幣の入出金リサイクル運用※2に対応した海外金融機関向け窓口用紙幣入出金機「RBG-200」を開発し、5月24日より発売いたします。

【製品の特徴】

- ・「テープ巻き取り方式」採用により、紙幣のサイズや状態(新券・流通券・損券)にかかわらず、幅広い処理が可能
- ・業界最多 128種類の紙幣の入出金リサイクル運用に対応
- ・機内の紙幣を自動で再計数する自動精査機能により、紙幣を数え直す手作業をなくし、厳正化と効率化を実現

近年、海外金融機関の営業店において、銀行職員をお客さま向けのコミュニケーションや営業活動などに注力させるため、現金を数えたり整理したりする単純作業の機械化が進んでいます。このような市場背景の下、現金の取り扱い業務を円滑かつ正確に行う窓口用紙幣入出金機は、先進国を中心に導入が加速しています。昨今では、ブラジル、ロシア、インド等、経済発展が著しい大型の新興国においても、先進国同様に銀行営業店での機械化のニーズが高まっています。

今回開発した「RBG-200」は紙幣収納庫と一時保留部に「テープ巻き取り方式」を採用しました。テープ巻き取り方式とはドラム式の収納庫に紙幣を金種混合で巻きつけて保管する方式です。この方式は、紙幣の搬送や収納においてトラブルが起こりにくい構造で、世界各国の多様なサイズの紙幣や新興国で見られるしわ・汚れなど状態の悪い紙幣等にも対応でき、取扱える紙幣の範囲が格段に広がりました。また最新型の識別機能を搭載したことで、真偽や金種の判定、記番号の読み取り、さらには、どの紙幣がどの収納庫の何枚目に格納されているか等を全て記録できるため、最大128種類もの紙幣の入出金リサイクル運用が可能となりました。これにより、新紙幣が発行され、新旧の紙幣が混在するときも、1台で両方の紙幣を取扱うことができます。また、自国以外の紙幣の入出金も可能なため、外貨両替業務で運用することもできます。

さらに、自動精査機能により、現金に触れることなく機械の中の紙幣を精査できます。機外で約1時間かかって計数していた精査作業の負担が大幅に軽減されます。

弊社はこの1年間で、海外市場向け紙幣入出金機を2機種※3発売してきました。この度、3機種目となる「RBG-200」をラインアップに加えることで、海外市場拡大に向けた「RBG シリーズ」が揃いました。シリーズ機種の拡販に注力し、海外売上高のさらなる拡大を図ってまいります。

※1 海外金融機関向け紙幣入出金機において業界最多。必要となる券種数は、地域ごと・顧客ごとで異なります。

※2 紙幣リサイクル運用: 入金した紙幣を出金用として還流させることです。

※3 ①RBG-300: 小売店のバックオフィスに設置。金融機関のホストコンピューターとオンライン接続して売上金の入金とつり銭準備金の出金を実現。

②RBG-100: 銀行窓口に設置。業界最多の収納量(約 17,000 枚)と業界最速の入金計数スピード(10 枚/秒)を実現。

【製品写真】

